

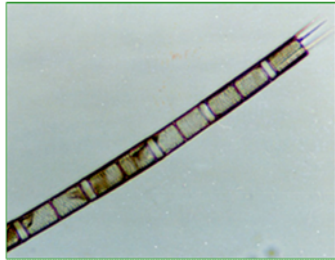
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第29報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
平成29年10月16日

1.最も数が多かった種類(優占種)

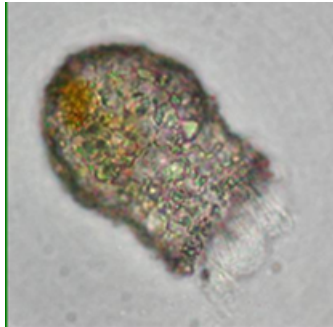
植物プランクトン第1優占種



Aulacoseira granulata
(アウロコセイラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。殻の側壁に斜めに走る点紋列がある。群体の両端に顕著な長い棘状突起を有する。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っている。

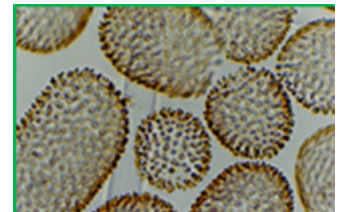
2.計数された異臭味原因プランクトン



Anabaena spiroides var. *crassa*



Phormidium tenue



Uroglena americana

コメント

植物プランクトンでは、珪藻に属するアウロコセイラ(*Aulacoseira granulata*)が優占種となった。体積で見ても、珪藻に属するアウロコセイラ(*Aulacoseira granulata*)が優占種となった。網別の体積では、珪藻類が総体積の約33%、緑藻類が約21%、藍藻類が約16%を占めた。動物プランクトンでは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が640個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは30,000細胞/mLと減少し、輝橙色のものが83%、深赤色のものが17%であった。また、かび臭物質を生産するアナベナ・スピロイデス・クラッサ(*Anabaena spiroides* var. *crassa*、物質: ジェオスミン)およびフォルミディウム・テヌエ(*Phormidium tenue*、物質: 2-MIB)が、さらに生ごさ臭の原因となる*Uroglena americana*が計数された。

3.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

第1優占種		(個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	640
第2優占種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Keratella cochlearis</i>	200

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

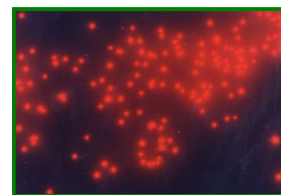
(2) 植物プランクトン

平成29年10月16日

第29報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	20		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa*★</i>	4		
(藍) <i>Anabaena affinis*</i>	60		
(藍) <i>Phormidium tenue*★</i>	40		
(黄鞭) <i>Uroglena americana★</i>	60		
(黄鞭) <i>Mallomonas fastigata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	20		
(珪) <i>Melosira varians</i>	10		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	180	◎	◎
(珪) <i>Aulacoseira distans</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		○
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	160	○	
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	64		
(緑) <i>Planktosphaeria sp.</i>	160	○	
(緑) <i>Oocystis sp.</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	16		
(緑) <i>Scenedesmus sp.</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	2		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum sp.</i>	1		
(緑) <i>Spondylosium moniliforme</i>	4		
(他) <i>Merotrichia capitata</i>	4		
(藍) 藍藻綱	124	11.1	16.4
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	90	8.1	11.6
(珪) 珪藻綱	350	31.4	32.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	21.5	15.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	308	27.6	20.9
(他) その他のプランクトン	4	0.4	3.3
総 細 胞 数	1116	総体積	1.07E+06
種 類 数	25	(μm ³)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) ★: 異臭味原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	10月16日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus sp.</i>	30,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。